

スピリチュアル物語

119話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$70

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$22/1件(Paypal)



「一旦話が逸れるが、今回の本誌の発行日でもある9月11日は何の日か、過去からタイムスリップしてきた君達は知らんじやろうが…」というマグワートの言葉に、マジヨリアルとウィザットは神妙な面持ちで無言で頷く。彼の声のトーンが下がったことで、明るい話ではなさそうだと敏感に察知したのだ。そんな二人に向かい、「9月11日自体が悪い日という意味ではないぞ。その日にErdan Birthdayの人だって居るし、歴史的にも色々なことがどんな日にも起きるからもう「マグワートはそう注釈を入れ、続け

た。「2001年の9月11日にアメリカ同時多発テロ」なるものが起きて、3000人近い人の尊い命が失われたんじゃないよ」「え？そんなに大勢？」マジヨリアルが反応すると、「災害や事件、事故によって一度に大勢の人が亡くなることもあるけど、神様はどうして助けないんだらう…」ウィザットが呟く。「ワシが思うことじゃが、恐らくは、人間には解らない魂レベルでの深いお役目を担って、大勢の魂が一度にあちらの世界に戻っていく必要が時に生じるのかも知れん。そして、そういうことが起きると、こちらの世界でも

エナジーチェンジやシフトチェンジが起きることが多いが、そんな中、こちらの世界に残っているワシらは、亡くなった人達の尊い命に感謝と畏敬の念を示し、この世界で残されたミッションの遂行に全力を尽くすことが必要なんじゃないだろうか。そうすることで、あちらの世界とこちらの世界のバランスが、丸でメビウスの輪の様に保たれる様な気がワシはするんじゃないが…」



★これまでのお話(1~118話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月25日号につづく